

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

<研究課題名>

乳癌における RFX1, DERL3, RASEF 遺伝子発現の臨床的意義に関する研究
Expression analyses of RFX1, DERL3 and RASEF expression in breast cancer

<研究期間>

倫理委員会承認日～平成 29 年 12 月 31 日

<研究の目的・意義>

名古屋大学医学部附属病院において乳癌で、過去に手術を受けられた方あるいはこれから手術を受けられる方を対象とし、これらの手術で採取した検体・データを利用して、RFX1・DERL3・RASEF 遺伝子の解析を行うことで、これらの遺伝子の乳癌における役割を分析し、乳癌の診断・治療に役立てることができないかについて検討することがこの研究の目的です。

<研究方法>

2002 年 3 月から 2017 年 7 月 31 日の間に名古屋大学医学部附属病院で乳癌手術をうけられた患者さんの手術で採取した検体とカルテ情報を使用します（過去に手術を受けられた方については、全ての方ではなく、手術前に検体採取について同意をいただきました一部の方を対象としています）。具体的には、採取した検体から DNA や RNA を抽出し RFX1・DERL3・RASEF 遺伝子が発現している量が、乳癌の性質や予後と関連していないか調べます。患者さんのカルテ情報からは、年齢・家族歴・病理検査結果・術後の薬物療法内容・予後の項目を参照させていただきます。本研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担となるようなことは行いません。集められた情報を解析し、RFX1・DERL3・RASEF 遺伝子が乳癌の性質と関連するかどうか、そして新たな診断法や治療法につながる可能性がないか、検討いたします。

<予測される利益・不利益について>

この研究に参加いただいた場合、患者さんに直接生じる利益はございません。また、手術で採取した試料とカルテの記録をもとに検討いたしますので、今回参加いただいた患者さんへの負担や副作用などの不利益はありません。過去に手術を受けられた方に対して、新たに組織や血液を採取したりすることはありません。

<本研究の実施について>

この研究は名古屋大学生命倫理審査委員会の承認を受けた上で行われます。

もしも患者さんがこの研究へのご自身のカルテ情報の引用を望まれない場合には、この研究には使用いたしませんので、下記連絡先までご連絡・ご相談ください。

しかしながら解析終了後または学会・論文での発表後には、データを削除できないことがあります。

連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 移植・内分泌外科学講座

研究責任者名 菊森 豊根

住所 名古屋市昭和区鶴舞町65

電話 052-744-2251

FAX 052-744-2252

苦情の受付先：名古屋大学医学部経営企画課

電話 052-744-2479

<個人情報の保護について>

研究に用いる試料・カルテ情報は全て匿名化して誰の情報かわからないような形にしてから解析を行います。したがって患者様の個人情報に他に漏れる心配はありません。匿名化されたデータやその他の解析資料等は、研究終了後5年間を経過した後、破棄いたします。

<費用について>

この研究に関して、患者さんへ追加でご負担いただく費用はありません。また謝礼もございません。